



## 2月園だより

令和8年2月2日  
第三ひもんや保育園園長

毎年恒例の『新年お祝い会』が1月初旬に行われました。今年は、2歳児クラスの子どもたちも参加しました。おせちのパネルシアターを見ながら中に入っている食べ物を言い当てていきます。最初に“かずのこ”の絵を見せると勢いよく手を挙げたのが2歳児でした。「〇〇ちゃん」と司会者に言われると「バナナ」と元気いっぱいに答えていました。その後もたくさんの手が上り「ししゃも」「ぎょうざ」と思い思いに答えていました。正解にはなかなかたどり着かなかったのですが、子どもたちが躊躇することなく自分の思っていることを堂々と答えていました。大人に思いや気持ちをしっかり聞いてもらうことで、認めてもらえている、受け入れてもらえているという思いが芽生え、自分の気持ちをしっかり伝える姿につながったのだと思っています。どんな言葉も否定せず受け入れていくことの大切さを今回の子どもたちの姿から改めて感じさせてもらうことができました。これからも、子どもの言葉や思いに耳を傾けてくと同時に言葉にならない思いもしっかりと受け止めていくことを職員と一緒に取り組んでいきたいと思っています。



### 2月の予定

節分  
街ごっこ  
身体計測・避難訓練



## 異年齢の関わり 乳児クラス



フラフープで電車ごっこをしているお兄さんがありんこ組の子を中に入れてくれて一緒に歩くことを楽しんでいました。



「とんとんとんなんのおと」とてんとうむし組の子が遊んでいると、ちょうちょ組の子も加わり、「おばけのおと」「きゃー」と一緒においかけっこを楽しんでいます。



ちょうちょ組とてんとうむし組の子が「ここに骨と卵があったよ」「きょうりゅうかな？」と会話をしながら園庭で探索を楽しんでいます。



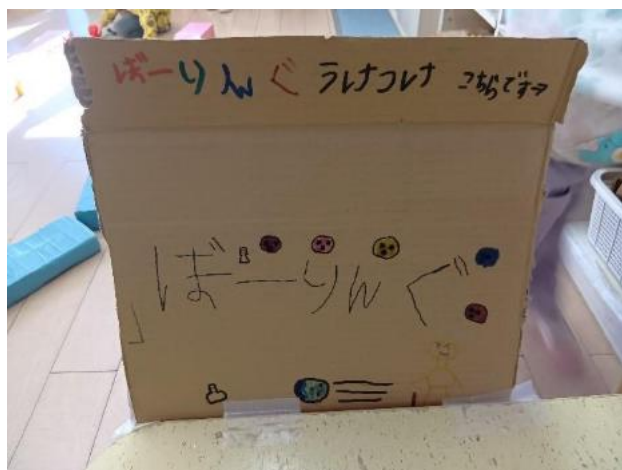




## 幼児クラス 街ごっこの取り組みの様子をお伝えします



4、5歳児クラスは、街探検に行ってから縦割りで2グループに別れて街ごっこで何をしたいか話し合いました。ホテルと迷路に決まり「ホテルには受付があるよね」「迷路の途中で水族館を作ろう」とアイディアを出し合いながら作ったり描いたりしています。経験したことを再現して、思い描いたまち作りを楽しんでいます。



5歳児室に遊びに行ったときに街ごっこの準備が始まっていることを知ったみつばち組の子どもたちから「楽しそうね」「みつばち組も何かやりたい」との声があがりました。どんなことをしたいか聞くと、駄菓子屋をイメージした「おかし屋さん」が1番人気でした。キャンディやチョコレート、グミなどお店に並べるものを少しずつ作りながら当日を楽しみにしています。

